

本書の構成

- 本書は大きく「Case パート」と「用語解説パート」の2部構成です。
- 「Case パート」では、患者の受け入れからはじまり、リアルなやりとりのなかで、どのように治療戦略を考えていくかを解説しています。
- 「Case パート」で登場した用語のうち、解説が必要なものを「用語解説パート」で解説しています。

Case パート

治療選択の分岐の際に
考えるべきことの複雑度

Case 1 小腸間膜損傷

CTで止血できますか？：eFAST陽性ショック

見える化より、生きる化

となる日の23歳男。被刺外傷（EIT）にて腹部からの出血が入りました。
①危険度：60代、男性で、22歳30分腹部単純平野でいたところ、右側から飛来して来た銃弾により左胸郭と腹部を複数のショットベットで射がります。シーベルトはございました。前胸部と腹部にショットベットで射がります。現在のバイタルサインでは、血圧123/94mmHg、脈拍数116回/分、呼吸数20回/分、SpO₂ 97%（家庭式）、意識レベルGCS E4V4M6、静かに泣かさないような状況です。受けるいかがでどうですか？
②ERスタッフ医師：受け入れ可能です。どうぞ。

対応の難しさを
5段階で表しています

治療選択の分岐 ①

さあ、最初の治療選択の時節となりました。外傷患者初歩では、このような情報が確定しない状況下での選択が最終的に求められます。

現時点での選択は次の2つです。

- まず気管挿管を行ふ
- まず胸郭・骨盤を撮影してから気管挿管を行う

あなたならどちらを選びますか？

外傷外科医の選択①

①外傷外科医：なんとか取締り直す
医師よります！ 痕曲が筋いたらず

外傷外科医はお見事しました。

このように看診一つの選択肢からどちらに

リット/デメリットを考えるのが重要です。

- | リスト | デメリット |
|---------|---|
| ①まず気管挿管 | ・気管挿管時の会員の入り（止
血）を困難にします。
・呼吸困難の際にも呼吸停止
が発生するリスクがある
など、早期かつ安全に手術
を済ませること |

どの治療をどんな理由で
選ぶのか？を
エキスパートの目線から
解説

ERスタッフ医師が発送される外傷患者に関する情報を用いてのスタッフと共にしま
す。これをブリーフィング（ブリーフィングシート）と呼びます。ERとい
う言葉、少しでも頭の中下で外傷患者に関する情報を最初情報を聞くには、
MISTTMが有用です。今後の実際では以下のようになります。

Mechanism (機序)	自転車走行中の事故、右側から飛来した乗用車と接触した。
Injury Site (怪我の場所)	前胸部
Treatment (処置)	呼吸困難
Sign (バイタルサイン)	mmHg 血圧116回/分、呼吸数20回/分 脈拍数116回/分、意識レベルGCS E4V4M6 (静 かに泣かず)

傷の患者さんが搬送されます。到着予定は30分後です。患者情報をです。…

があり、胸部外傷があります。胸部外傷が

あります。胸部外傷が

ER医師：前止が

ERスタッフ医師：ショックの原因の原因

をしておまえよう

ER医師：外傷

ERスタッフ医師：ベルトあります。是

code 5で発送させまし

初回EITTMにします。

ER医師：ではお傷チムに連絡しておきます。超緊急輸血（当院での大量輸

血プロトコル）の準備はどうでしょうか？

ERスタッフ医師：まだ私は保れていいようなので、来院してから考えます。

外傷診療のうえで、受け入れの準備は非常に重要なです。【取り扱い8分、仕事2分】

を日々実践しましょう。

外傷患者の受け入れ前に考えておくべき項目をあげておきます。

①人員（医師（各診療科）、看護師、放射技術師、臨床工学技士）

②ディスプレイ、輸液ルート、気管挿管チューブ、人工呼吸器、手術器具、胸腔ド

レンジなど）

12 ERからはじまる 外傷の治療戦略

p.000 がついている単語は
「用語解説パート」の
該当ページにて
詳しく解説されています

用語解説 パート

用語解説

5点腹腔内パッキング

腹腔内出血の手術時に用意する手術がこの「5
点腹腔内パッキング」です。腹腔の各辺へ一枚の
止血ガーゼを用意するスベースを立てるゴム止血綿
で止血をします。止血が立たなければ止血綿を2
枚重ねで止血をします。止血が立たなければ止血綿
を3枚重ねで止血をします。止血が立たなければ止
血綿を4枚重ねで止血をします。止血が立たなければ止
血綿を5枚重ねで止血をします。

原則的には、肝臓・脾・十二指腸、上位結腸、小腸等

など大きな内臓に用意する止血綿を5枚重ねで止

止血綿、右側腎門部、右側腰大動脈、

腰椎動静脉、二腹筋筋膜第3・4筋、左側腰動静脉

等に用意する止血綿です。

具体的には、肝臓・脾・十二指腸、上位結腸、小腸等

など大きな内臓に用意する止血綿を5枚重ねで止